

兵高教組

確定速報 5号

2014年11月25日 調査情報24号

兵庫県高等学校教職員組合調査部

TEL : 078-341-6745

FAX : 078-351-3185

URL : <http://www.hyogo-kokyoso.com>

mail : honbu@hyogo-kokyoso.com

県教委は教職員の切実な要求に応えよ! 「10大要求署名」累計5146筆を提出

2014年度賃金確定交渉はいよいよ山場を迎えています。第4回目の交渉の段階でも、県教委は最重要課題である県「行革」カットの中止には全く言及せず、「給与制度の総合的見直し」による平均2%の賃金引き下げという許し難い提案を行いました。国が給料表の引き下げと地域手当とを一体として提案しているものを、「国に準拠」と言いながら賃金引き下げだけを提案してくるなど、そもそも提案になっておらず、示された給料表を突き返しました。



こんなにひどい、県教委の提案

その1. これまでの「行革」カット

現在、全国で独自に一般職の賃金カットを行っている自治体は、北海道、神奈川県、大阪府、そして兵庫県の4つしかありません。兵庫県では、2001年の昇給延伸措置から、「新行革プラン」に基づく賃金カットに切り替えた2008年を経て現在に至るまでの13年間に、私たちから奪い取ってきた金額は一人当たり平均で300万円を超えます。

その2. 今後の「行革」カット

2008年から5年間の約束で始まった行革カットでしたが、今年でもうすでに7年目に突入しています。昨年の交渉で、県はこの行革カットを「第3次行革プラン」の中でH30年までに段階的に縮小していく、と答えています。しかし、人事委員会は、今年度の勧告で、「適正な給与水準」を「**早期に確保**」するよう「最善の努力」を尽くすことを「要請する」、と一段と踏み込んだ表現をしています。

その3. 今年の給料は本当に上がるのか?

給料表については兵庫県も国に準拠したものを提示しています。平均して0.3%の引き上げということですが、若年層には厚く高年層には薄い引き上げ幅になっています。

《号給による昇給幅》

(高校教育職2級、大卒ストレートの場合)

1号給～ 36号給	: 2300円～2000円
37号給～ 76号給	: 1900円～1600円
77号給～120号給	: 1400円～1000円
121号給～135号給	: 900円～ 200円
136号給以上	: 昇給なし

その4. 「総合的見直し」でどのくらい下がるのか?

平均で2%、高齢層で最高4%という数字をいくつかのモデルで金額として示してみます(モデルは高校教育職2級、大卒ストレートの場合)。

26歳(33号給)	: 234,900円→234,700円(－ 200円)
30歳(52号給)	: 285,400円→280,200円(－ 5,200円)
40歳(96号給)	: 379,900円→372,400円(－ 7,500円)
50歳(142号給)	: 421,500円→410,200円(－11,300円)
55歳(164号給)	: 432,000円→415,700円(－16,300円)

こんな理不尽、我慢できますか?

また、青年層にはあまり被害はない?と勘違いされている方もいますが、全くそうではありません。若い人ほど一生かかってこの減額の積算額を背負っていくのです。これが退職金にも響くので、生涯賃金としてはとてつもない減額となります。

第三波決起集会に集まろう!



11月25日(火)

16:00～17:00

県庁2号館前広場